

# 起案用紙（委員会記録伺）

(1号)

議長	副議長	委員長	事務局長	局長補佐	係長	担当	文書取扱主任
起案日	令和6年6月24日			処理区分	<input type="checkbox"/> 重要 <input type="checkbox"/> 至急 <input type="checkbox"/> 例規 <input type="checkbox"/> 公示 <input type="checkbox"/> 議案 <input type="checkbox"/> 秘		
決裁日	令和6年6月25日			保 存	<input type="checkbox"/> 永 <input checked="" type="checkbox"/> 10 <input type="checkbox"/> 5 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 即廃		
登録番号	6 四 議 第 270 号			公 開		非公開理由	
分類番号	04-02-01			<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 時限非公開 ( 公開 )		四万十市情報公開条例第9条に該当 ( )	
簿冊番号	04 - 03						
委員会名	総務常任委員会			会議年月日	令和6年6月24日(月)		
				会議時間	09時55分～10時55分		
出席委員	委員長	広瀬正明					
	副委員長	澤良宜由美					
	委員	川村一朗					
	委員	平野正					
	委員	上岡正		欠席委員			
	委員	上岡真一					
その他	委員外議員	川村真生					
	委員外議員	鳥谷恵生					
執行部出席者	財政課長	竹田哲也					
	財政課長補佐兼管財契約係長	上岡史卓					
	学校教育課長	岡本寿明					
	学校教育課総務係技幹	森平晃司					
事務局	事務局長	原 憲 一					
	総務係主幹	近藤由美					
記 録							
令和6年6月定例会で付託された議案1件及び陳情1件の審査のため、委員会を開催しました。							
その概要については以下のとおりです。							

■委員長挨拶により開会。

●まず、付託を受けた「第5号議案 工事請負契約の一部変更について～令和5・6・7年度四万十市立東山小学校校舎改築工事（建築主体工事）～」について審査を行った。

**【説明：竹田財政課長】**

今回の工事では、地盤改良に柱状改良工事という工法を用いることとしていたが、地盤掘削をしたところ、大きな転石が多数確認され、柱状改良を行う機械では掘削できないところがあることが判明し、オールケーシング工法による地盤掘削を追加する必要が生じたため、契約金額が増額することとなった。

なお、当該工事は、5月27日の臨時議会において契約の議決をいただき、翌28日より工事着手、6月5日より地盤改良工事を開始した。6月13日に柱状改良を行う全か所の確認を終え、対応を協議し、工法を決定したため、6月定例会における当初の議案送付日に間に合わなかったことから、追加提案となった。また、工期について、令和7年7月31日までとしていたが、令和7年8月15日までに延長する予定である。

**【質疑：平野委員】**

地盤改良ということだが、別途、ボーリング調査はしないものか。

**【答弁：岡本学校教育課長】**

ボーリング調査は7か所行っているが、このボーリング調査の結果で、広範囲に転石が分布していることを推測することは難しい状況であった。7か所のうち、工法を変えるところは3か所あった。

**【質疑：上岡正委員】**

今の答弁では、7か所ボーリング調査をしたが、わからなかったため、仕方なくケーシング工法に変えたということのようだが、7か所ではまずかったということか。

**【答弁：岡本学校教育課長】**

この規模の建物では、通常5か所程度だが、今回の工事では支持地盤の傾斜が想定されていたため、7か所行った。1か所当たり約70万円費用がかかるため、これ以上の調査は現実的でないと考えている。

**【意見：上岡正委員】**

通常より2か所多く調査したにもかかわらず、結果的にはわからなかったということで、今回の件は了とするが、今後は、よく検討し、当初設計を作るべきと考える。

**【質疑：川村一朗委員】**

オールケーシング工法とは、どういう工法か。

**【答弁：岡本学校教育課長】**

ケーシングチューブというのがあり、直径150cm程度の管を回転させながら圧入する（埋め込む）。管の中にハンマークラブを落下させることによる落下エネルギーにより、地盤内に貫通させ、その地盤を破碎掘削する工法。

**【質疑：川村一朗委員】**

大きい石を取り除いていくほうが工法的に安く済むのでは。どういった判断で、オールケーシング工法が採用となったのか。

**【答弁：岡本学校教育課長】**

柱状改良の箇所は全部で147か所あり、うち、79か所は柱状改良工事で施工済だが、残りの68か所について、例えば支持層まで8m程度あるなど、石を取り除くにはバックホーなども必要になり、経費、工期等の面から総合的に検討し、今回変更する工法が1番良いという判断。

**【質疑：上岡正委員】**

結果をみて誰が工法の変更を判断したのか。

**【答弁：学校教育課森平技幹】**

本工事の設計業務の受託者と工事請負業者とが協議を重ね、ベストな工法を採用した。

**【質疑：上岡正委員】**

本市において、過去に、この工法での実績はあるか。

**【答弁：学校教育課森平技幹】**

本市での実績は今のところ確認できていないが、宿毛市の松田川沿いにある小学校で、同じような大きな転石があり、オールケーシング工法を採用した事例がある。

※他に質疑なく終了

採決の結果、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決した。

●次に陳情受理番号第1号「公共建築物の設計コンサル委託業務指名に関する陳情書」について審査を行った。

－小休－

－正会－

**【意見：川村一朗委員】**

地元優先、四万十市の業者優先というのは同意するが、あまりにも全てを、市内設計事務所を受託者として行うというのは、ちょっと行き過ぎの部分もあるのではないかと。協議する必要もあると思うので、できたら継続審査にしていきたい。

**【意見：上岡真一委員】**

ここですぐ決を採るのは難しいのではないのかということと、会派で話ができているところもある。また、執行部の意見も聞きたい。このようなことから、総合的に、継続審査に賛成する。

**【意見：上岡正委員】**

継続審査としてもいつかは結論を出さなければならない。しかし、執行部の意見も聞かなければならないと私も考えるので、継続審査とするのが良い。

**【意見：澤良宜副委員長】**

まだ内容を把握しきれていないのと、執行部の意見もしっかりお聞きしないと判断できない案件ではないかと思う。いずれは結果を出さなければならないが、今の状態では判断しきれないので、継続審査という形にしたい。

－小休－

－正会－

採決の結果、全会一致で継続審査すべきものと決した。

●次に、その他に移り、管内視察について協議を行った。

－小休－

－正会－

**【進行：広瀬委員長】**

管内視察については、8月5日に行うこととし、視察項目については正副委員長で調整のうえ決定することとした。

●次に、管外視察について協議を行った。

－小休－

－正会－

**【進行：広瀬委員長】**

管外視察については、正副委員長で案を作り、8月の委員会で決することとする。

－小休－

－正会－

**【進行：広瀬委員長】**

次回委員会は、8月5日9時から行い、同日に管内視察も行うこととする。

■委員長報告の作成を正副委員長に一任し、委員会を終了した。